

# 《《《《《《《《学会特別価格販売のご案内》》》》》》》》》

編集委員長  
土橋 律

編集委員  
新井 充  
板垣 晴彦  
大谷 英雄  
笠井 尚哉  
鈴木 和彦  
高野 研一  
西 晴樹  
野口 和彦  
福田 隆文  
伏脇 裕一  
松永 猛裕  
(五十音順)

安全工学会の総力を結集した便覧！

# 安全工学便覧

## (第4版)

安全工学会 【編】

B5判・1,192ページ 定価41,040円(本体価格38,000円+税)  
箱入り上製本 2019年7月発行!!

### 刊行のことば (抜粋)

「安全工学便覧」は、わが国における安全工学の創始者である北川徹三博士を中心となり体系化を進めた安全工学の科学・技術の集大成として1973年に初版が刊行された。広範囲にわたる安全工学の知識や情報がまとめられた安全工学便覧は、安全工学に関わる研究者・技術者、安全工学の知識を必要とする潜在危険を有する種々の現場の担当者・管理者、さらには企業の経営者などに好評をもって迎えられ、活用されてきた。時代の流れとともに科学・技術が進歩し、世の中も変化したため、それらの変化に合わせるために1980年に改訂を行い、さらにその後1999年に大幅な改訂を行い「新安全工学便覧」として刊行された。その改訂から20年を迎えるとするいま、「安全工学便覧(第4版)」刊行の運びとなった。

今回の改訂は、安全工学便覧が当初から目指している、災害発生の原因の究明、および災害防止、予防に必要な科学・技術に関する知識を体系的にまとめ、経営者、研究者、技術者など安全に関わるすべての方を読者対象に、安全工学の知識の向上、安全工学研究や企業での安全活動に役立つ書籍とすることを目標として行われた。今回の改訂においては、最初に全体の枠組みの検討を行い、目次の再編成を実施している。旧版では細かい分野別の章立てとなっていたところを

第I編 安全工学総論、第II編 産業安全、第III編 社会安全、第IV編 安全マネジメントという大きな分類とし、そこに詳細分野を再配置し編成し直すことで、情報をより的確に整理し、利用者がより効率的に必要な情報を収集できるように配慮した。さらに、旧版に掲載されていない新たな科学・技術の進歩に伴う事項や、社会の変化に対応するために必要な改訂項目を、全体にわたって見直し、執筆や更新を行った。特に、安全マネジメント、リスクアセスメント、原子力設備の安全などの近年注目されている内容については、多くを新たに書き起こしている。約250人の安全の専門家による執筆、見直し作業を経て安全工学便覧の最新版として完成させることができた。つまり、安全工学関係者の総力を結集した便覧であるといえる。

委員長 土橋 律

執筆者：

青木 康展	青野 忠一	秋吉美也子	朝倉 祝治	浅利 敏夫	新井 直人	飯田 嘉宏	池田 均	伊里友一朗	石黒 上田	弘一 榮次	井清 田	武弘士
磯田 実	板垣 晴彦	伊藤 謙治	伊藤 順一	伊藤 正彦	伊藤 嘉昌	伊藤 博之	今枝 大石	植木 純太郎	大久保 邦治	大島 稔	太田 太郎	博士久
臼井 健一	薄葉 州	宇田川 理	宇野 研一	梅田 勇	梅津 豊司	上泉 義治	枝岡 崑	大川 治	邦堯 有策	島野 加藤	小島 加藤	輝繁
太田 正志	大谷 英雄	大塚 尚武	大西 明宏	大西 晴夫	大沼 学	浦野 紘平	岡崎 慎司	岡田 勇一	忠二	木村 五箇	藤木 伸	好明
沖山 博通	亀井 浩	河合 徹	小野理子	小野直彦	賀川 大沼	大橋 信夫	前川 善司	岡田 晃嗣	太郎	五箇 近藤	藤田 幸一	健
亀井 浩	河合 徹	川上 博	川田 邦明	河田 晴昭	河田 武史	加島 静務	梶原 大輔	和彦	太延	藤田 道	藤田 道	弘進
国松 浩	河合 徹	久保内昌敏	久保田靖彦	神代 雅晴	神代 雅晴	菊池 孝臣	北野 壮一	伊藤 秀彦	和男	木村 伸	木村 伸	一郎
小白井亮一	後藤 久美	厚宏剛	厚宏剛	佐藤 潔	佐藤 潔	菊池 孝臣	桑川 壮一	神山 富士雄	昭男	五箇 近藤	藤田 伸	幸明
小白井亮一	後藤 久美	佐久間哲哉	佐久間哲哉	佐藤 潔	佐藤 潔	菊池 孝臣	小松原明哲	富士雄	重雄	藤田 道	藤田 道	輝
酒井 健二	佐久間哲哉	櫻井 浩哉	櫻井 浩哉	佐藤 潔	佐藤 潔	佐藤 治夫	駒宮 良一	重留祥	和英	木村 伸	木村 伸	繁
下和田浩一	首藤 由紀	白坂 成功	白坂 成功	佐藤 白崎	佐藤 白崎	佐藤 治夫	真田 貞夫	留祥	愛	五箇 関澤	藤田 道	好明
相馬 孝博	十亀 洋	高垣 卓哉	高垣 卓哉	高木 伸夫	高木 伸夫	須川 修	杉山 雄二	雄二	和喜	藤田 道	藤田 道	建
竹花 富澤	立美幸	田中克己	田中克己	田中正清	田中正清	田中克則	高島 武雄	高野 研一	秀雄	高橋 開	高橋 開	宏
富澤 幸雄	立美幸	田中庸公	田中庸公	田中庸公	田中庸公	田中英介	昌三	高橋 研一	朗	橋 橋	橋 橋	治
西島 茂一	西島宏太郎	西野泰道	西野泰道	西野知良	西野知良	西野和彦	高島 亘右	津久井稻緒	宏治	高橋 開	橋 橋	文
久宗 周二	伏脇裕一	日野泰道	日野泰道	日野泰道	日野泰道	日野泰道	政博三	中昌允	文義	橋 橋	橋 橋	康
伏脇 裕一	古澤栄二	芳松俊郎	芳松俊郎	芳松俊郎	芳松俊郎	芳松俊郎	敬三伸	昌允	行	高橋 開	橋 橋	典
松田 和秀	松永猛裕	松本理晃	松本理晃	松本理晃	松本理晃	松本理晃	伸嘉一	孝	靖一	橋 橋	橋 橋	安
持丸 正明	森川和昭	森住常圭	森住常圭	森住常圭	森住常圭	森住常圭	伸嘉一	英祐	英一	橋 橋	橋 橋	宏
山下 幹雄	山田常圭	山田實	山田實	山田渡邊	山田渡邊	山田渡邊	正嘉一	英祐	憲一	橋 橋	橋 橋	政
和田 忠之	和田有司	慎也	慎也	慎也	慎也	慎也	正嘉一	敏郎	明久	橋 橋	橋 橋	瑞



科学技術と共に歩む

コロナ社